

令和8年度 市民意識調査の結果 概要版

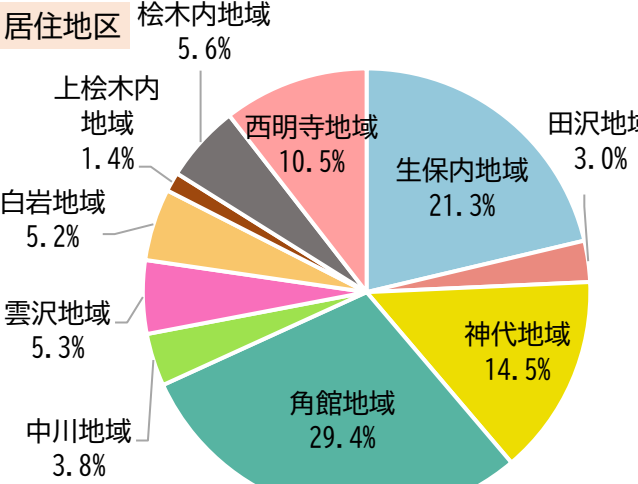
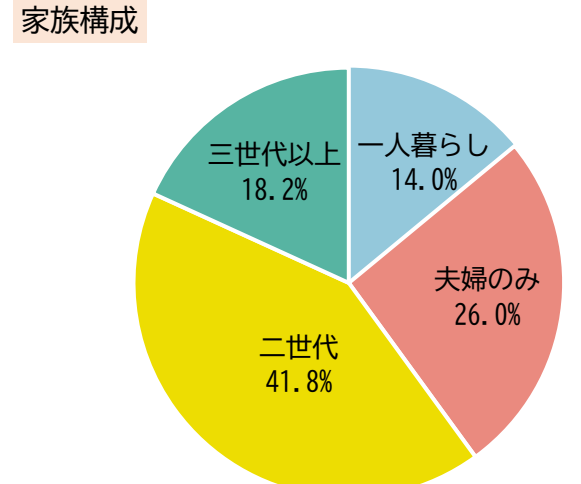
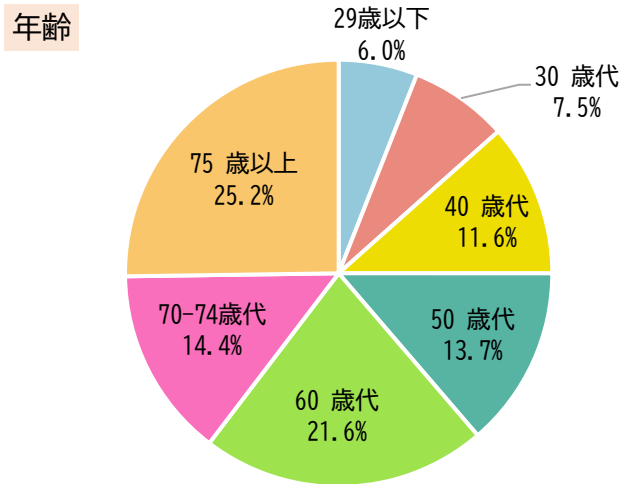
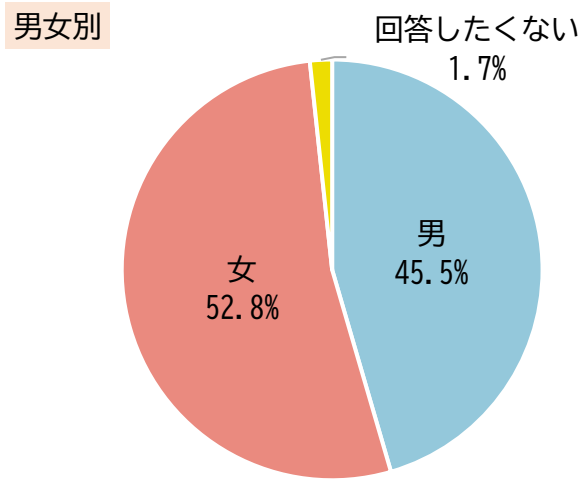
調査目的および実施概要

- (1) 調査の目的**
仙北市を幸福度全国No. 1とするため、市民の日常生活と意識・行動を明らかにし、その結果を施策立案の基礎資料や、施策展開のための客観的データとして活用することを目的としています。

(2) 調査の内容
1. 幸福度
2. 地域への愛着やあるべきまちの姿
3. 普段の活動や暮らし
4. 市の施策への満足度・重要度
- (3) 調査の設計**
1. 調査対象：令和8年4月3日現在で市内に居住する満18歳以上の男女個人
2. 標本数：3,000人
3. 抽出方法：18歳以上の各年代別の地区別人口の構成比に応じて無作為抽出
4. 調査方法：郵送による調査票の配布
郵送及びインターネットによる回答
(※無回答は除き集計)
5. 調査期間：令和8年5月1日(金)～5月20日(水)

(4) 回収結果
1. 有効回答数：1,080人(有効回答率36.0%)

回答者について

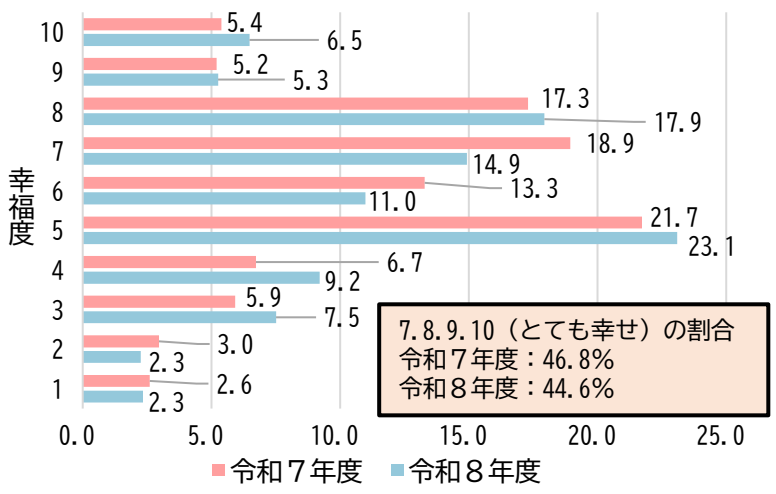


幸福度について

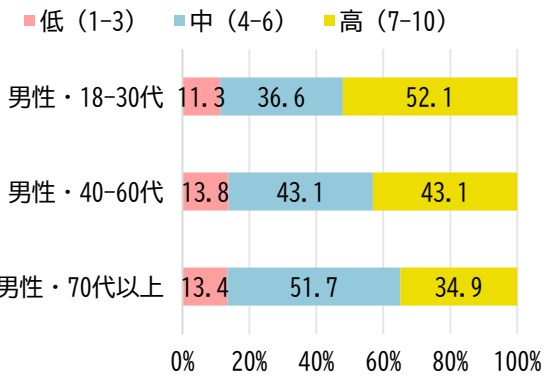
◆幸福度(1～10段階評価)について
「とても不幸」を1点、「とても幸せ」を10点として、現在の程度幸せであるかをお伺いしたところ、不幸でも幸福でもない中間の「5」を回答した方が多い結果となっています。

また、幸福度(1～10段階評価)の「1～3」を幸福度「低」、「4～6」を幸福度「中」、「7～10」を幸福度「高」と分類し、幸福度を性別と年代別でみると、昨年度と比較して男性、女性ともに18-30代の幸福度が上昇していることが分かりました。特に30歳代男性が14.6ポイント、29歳以下女性が24.0ポイント高い結果となっています。

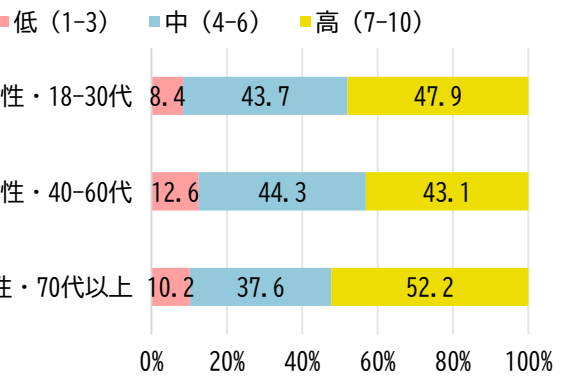
令和8年度と令和7年度幸福度比較表



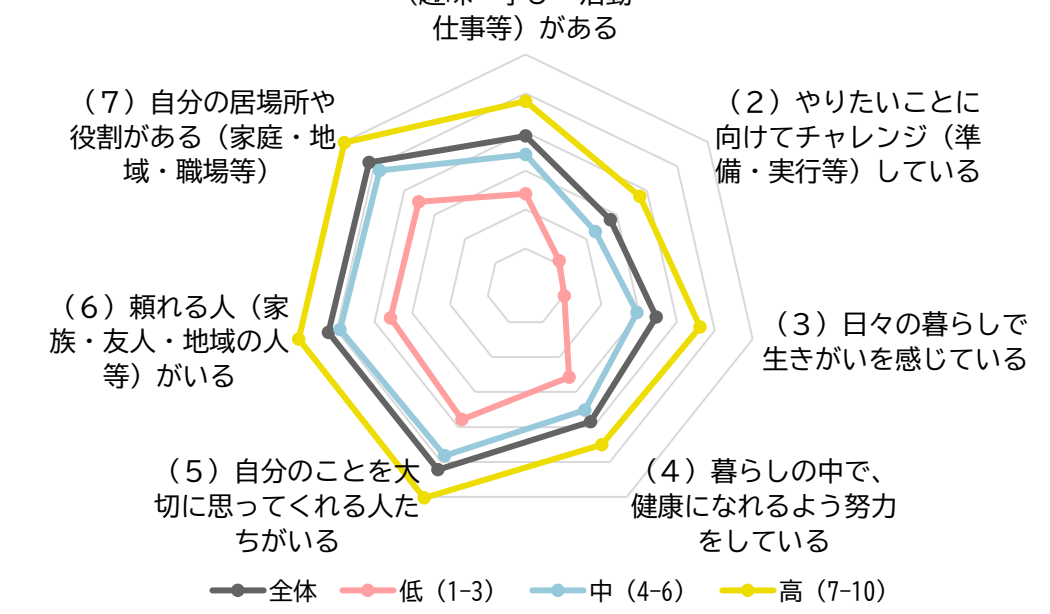
年代別・性別(男性)の幸福度



年代別・性別(女性)の幸福度



幸福度と7つの項目の関係



◆7つの項目と幸福度の関係

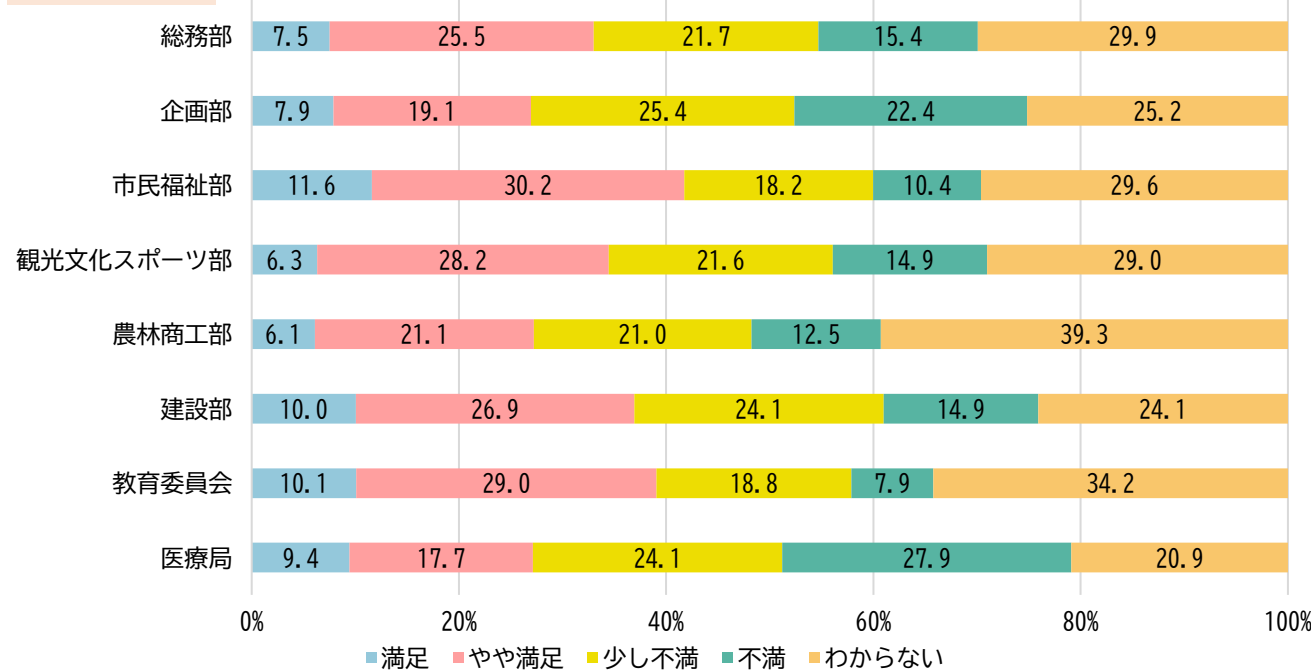
幸福感につながる7つの項目について分析したところ、7つの項目の数値が高い方ほど幸福度が高いという傾向がわかります。

令和8年度 市民意識調査の結果 概要版

施策の満足度と重要度

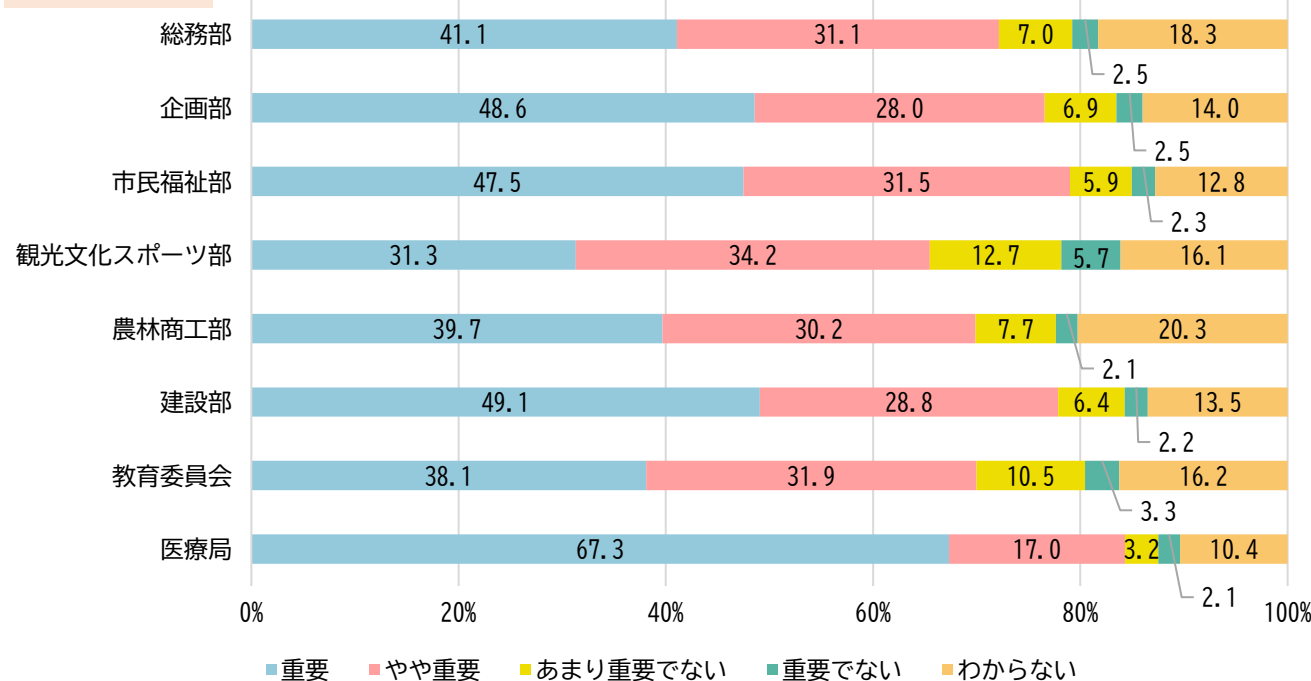
第3次仙北市総合計画で定めた施策に対して現在の満足度と今後の重要度をお伺いし、8つの部局にまとめて集計分析しました。

施策の満足度



部局ごとの満足・やや満足の合算値については、「市民福祉部」、「教育委員会」、「建設部」の順に高い結果となりました。

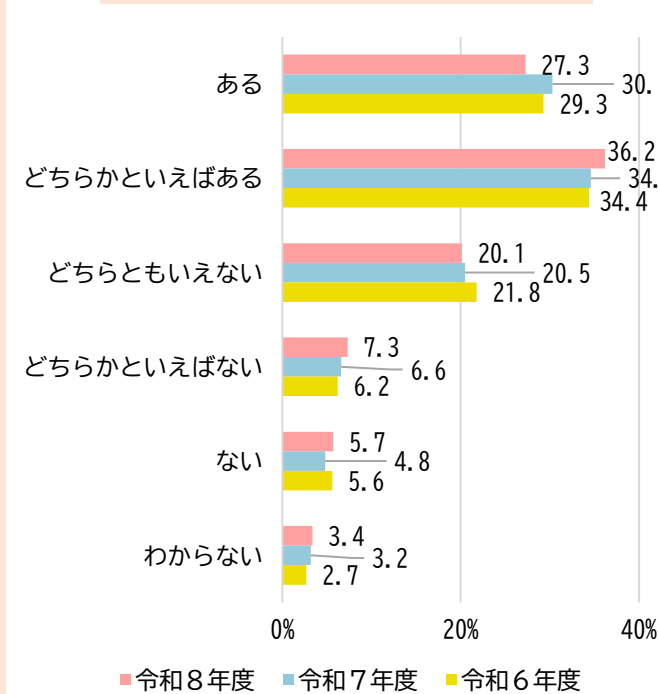
施策の重要度



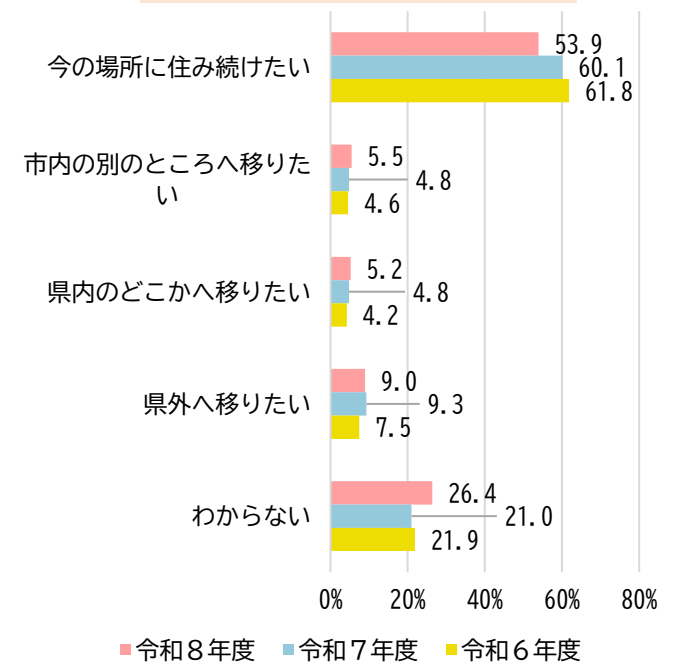
部局ごとの重要・やや重要の合算値については、「医療局」、「市民福祉部」、「建設部」の順に高い結果となりました。

住んでいる地域への愛着など

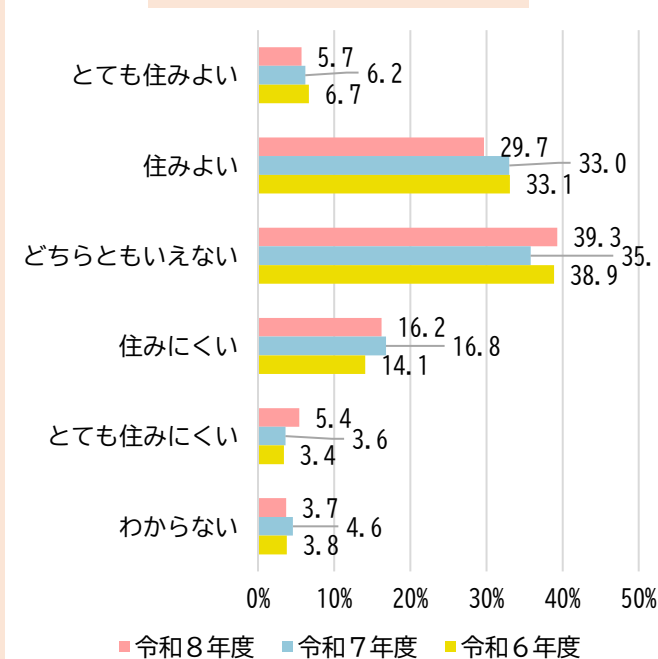
住んでいる地域への愛着がありますか



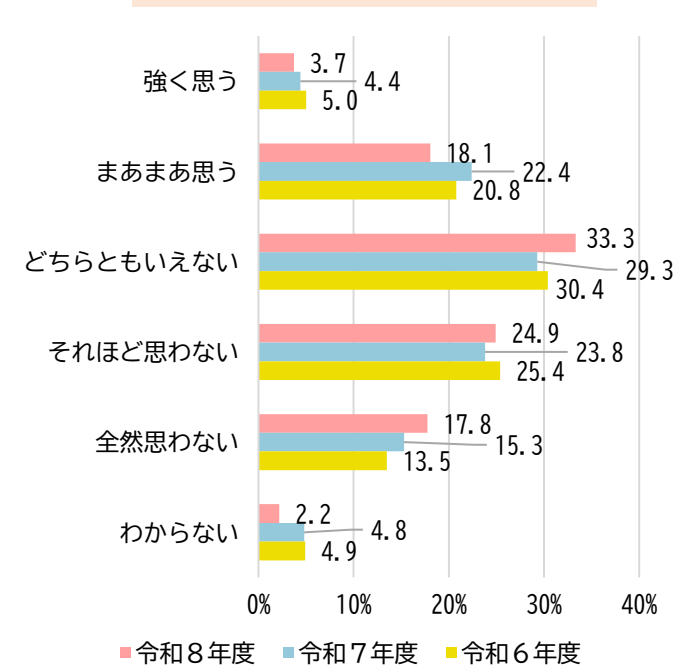
これからも仙北市に住み続けたいと思いますか



仙北市の住みやすさについてどう思いますか



自分の家族や友人に仙北市への移住・定住を勧めたいと思いますか



全体として、地域への愛着や定住意向は一定程度保たれている一方で、昨年度と比べると肯定的な回答が低下しており、特に「住み続けたい」、「移住・定住を勧めたい」という項目で低下幅が見られました。